



令和2年

9月10日(木)

【No. 5】

【1・3年生 合同体育 1年生 振り返りカードより】

2学期が始まって3週目に突入しました。もう学校生活には心も体も慣れましたか？2学期1週目に行われた1・3年生合同体育の振り返りカードを読ませてもらいましたが・・・とてもいい先輩に1年後・2年後なってくれるだろうなと期待してしまうような内容がたくさんありました！

『次回の授業から、私はここが変わる！』

- ・(僕は) 声が出ているときは、とてもよく出ているのですが、たまに声が小さいときがあります。なので、いつでもしっかり声を出して、教えていただいた3-〇組の先輩への感謝の気持ちが伝わるようにしたいです。
- ・次の授業で終わるのではなく、その次も、その次も・・・とずっと続けられるように授業前にもう一度(今回のことを)思い出すなどの何かしらの工夫をして授業に臨む。
- ・次回から股関節を回すときに体を外側に向けないなど教えられたことはもちろん、その運動が何のスポーツに関わっているかということを意識したい。
- ・周りに任せるのではなく、自分から積極的に声を出していくことで、1年生全体のひばりランの完成度を上げていけるようにしたい。
- ・もう動きを覚えたからと雑にするのではなく、どうしたら先輩に近づけるのかを常に動きながらひばりランをする。ひばりラン以外のあいさつなどもしっかりとやる。
- ・「もう完璧！」ということは「保つ(継続する)ことが難しい」ということ！今までのことを絶対に忘れずにいく！
- ・疲れない程度に声を加減しては意味が無いので、出せる全力の声を出すよう心がける。
- ・後輩が見て「先輩もできてないじゃん！」と思われないように真面目に取り組む。

教えてくれた人への感謝をどう表現していくか、学んだことを今後どう生かしていくか、赤学年としてどうなりたいかなど、強い意志を感じ取ることができます。

あなたたちがここに記入したことは「決意」であり、自分で決めて書いたことなのだから「責任」をもち、何事にも一生懸命取り組んでいこう！

『私はこんな先輩になって、後輩を指導していきたい! (自分の理想の先輩像)』

- ・後輩に教えるときに「自分ができないのに教える」ではなく自分ができる状態で教えられる先輩でいたいです。
- ・お手本になるように努力して、3年生よりもひばりランがうまくなって後輩を指導したい。
- ・自分たちが一方的にしゃべったり、見本を見せるのではなく、1年生と一緒に考えてみたり、1年生が主体的に指導していくことを大切にしていきたい。
- ・(自分が)一生懸命な姿を見せ、後輩の気持ちを奮い立たせられるようにし、後輩のやる気をそぐわないようにしたいです。
- ・授業1回1回の努力が大切だと思うので2年後3年後には全ての動きが完璧で声も出ている状態にし、指導したいです。そのためにも米粒が1粒ずつ増えていくような細かい努力を重ねていきたいと思います。
- ・自分のためだけでなく、教えた後輩がケガをしないうにと責任をもって効率よく教えていきたい。
- ・先輩たちは、笑顔を絶やさず、命令口調でもなく、質問をしやすい、話しやすい雰囲気があったので、私もこんな優しい雰囲気がある先輩になりたいです。
- ・私が先輩になって後輩に教えたときに、後輩も先輩みたいになりたいと思われるような先輩になりたい。
- ・各動作にはどのような効果があるのかなども伝えることができたらいいなと思いました。
- ・先生方は何もやっていなかったけど、3年生の先輩だけで1時間の授業ができていたのすごいいいと思いました。私もそうなりたいです!
- ・「そうそう!」「いい感じ!」とどんなに小さなことでもほめてくれて、それからアドバイスくれるので、とてもやりやすかった。また、「そこ、難しいよね・・・」と同感してくれてからアドバイスくれるというのもいいなと思った。自分が教える立場になったときも3年生のようになりたいと思った。
- ・ひばりランだけでなく、整列なども見本になれるようにしたい。

ここに記載してあるような先輩がいたら、後輩も心強いし、頼りにしたいと思ってくれるでしょう。「良い先輩」かどうかは後輩が決めることです。いまは「良い先輩」になるための準備期間! 相手を傷つけずにどう伝わりやすく声かけをしたらいいか、指導する(伝える・教える)ということとはどんなことなのか、責任って・・・何? 今回教えてくれた3年生の先輩だけでなく、ひばりが丘中には「良い先輩」がたくさんいます。よく観察してみましょう!